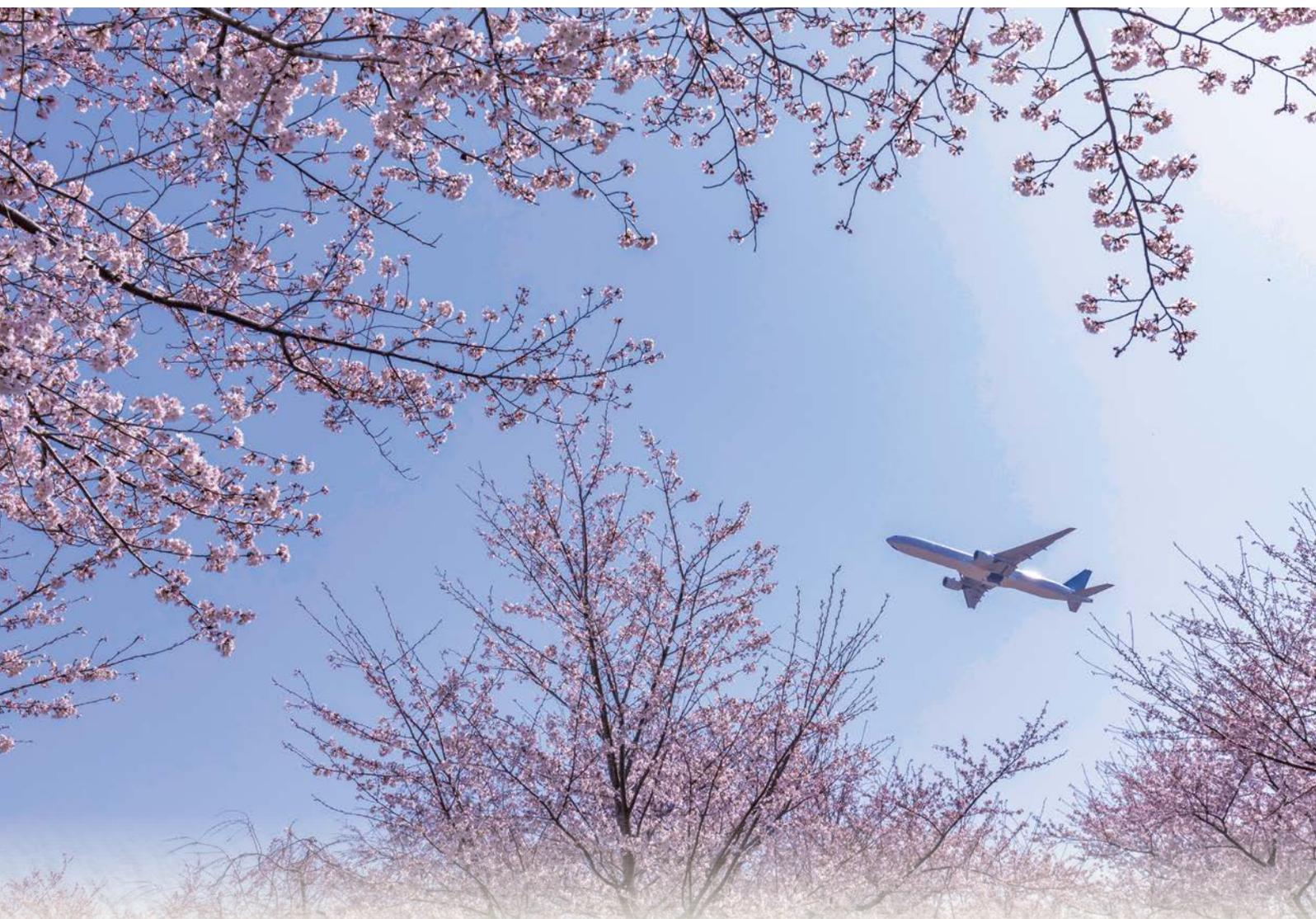


GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信
Vol. 9

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)



成田市さくらの山 A滑走路北側に位置し、美しい桜とともに飛行機の離発着を間近に体感できます。特に着陸時は、まるで手が届きそうなほどの大迫力。

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 諸岡 靖彦
地区スローガン「ロータリーから千葉を元気に」
ロータリー特別月間／水と衛生月間

3

2020
March

地区大会の成果を問う

国際ロータリー 第2790地区

2019-20年度 ガバナー 諸岡 靖彦 (成田RC)



RI会長代理 北清治ご夫妻、エイド 杉木禧夫ご夫妻と

去る2月8日・9日の2日間にわたる地区大会は、地区内会員はもとより他地区からも多数のご参加を得て、盛大に開催することができました。すべてのご参加ロータリアン、ならびに大会実行、運営関係者に心より感謝いたします。

さて、皆様にとって、地区大会の成果はいかがだったでしょうか！

私は当地区にとって、今大会には2つの意義があったと考えております。1つは昨年9月、10月に3度にわたる甚大な被害にあった風水害のインパクトです。地区内外から多くの自助・共助のご支援をいただきました。南房総地域や東京湾岸には、いまだにブルーシートの掛かった復旧以前の状態が残っていますが、人々の意識は明らかに復興に向かっていきます。

今年100周年を迎える東京ロータリークラブが真にロータリー活動に目覚めたのは、発足3年後に起きた関東大震災への、各国ロータリアンからの莫大な支援金を受けてからだといえます。自然災害に負けず、今後地区内にさらに強い結束が生まれ、ロータリーから千葉を元気にする、それぞれの地域のリーダーが立ち上がることを期待したいと思います。

もう1つは、北清治RI会長代理が強調されておられました。ロータリーの組織構成の最も基本的で一番大切な部分である、クラブのそれぞれが近未来においても地域社会で躍動できるよう、地区が支援し、今からクラブがそれぞれ独自の戦略計画を立案するために動きだそうという方向が、大会決議において示され

たことです。

会員は何のためにクラブに集い、会員基盤を整えるのか！ それは、千葉大学副学長・山田賢先生が記念講演でお示しされたように、我々が日々に生活し、職業をもって支えてゆくこの千葉という地域社会を、輝かしいものにすることです。東アジアが注目している日本の地域創生、その最先端に我が地区・千葉があるのです。足元の地域に誇りを取り戻し、真似事でない、この地域独特の個性を深く掘り下げて、固有のブランドとすることです。千葉の各地がブランド化して、県内全体がコネクティッドな地区とすることです。

大会の両日、会場において茶道・表千家千葉県支部有志の先生方に、ご来賓ならびにご参加ロータリアンに呈茶のご奉仕をいただきました。晩餐会では、千葉の観光名所を映像で紹介しながら、特に千葉の魅力を「空と海」に集約して、懐かしい楽曲を千葉交響楽団の弦楽四重奏が奏でました。エクスカッションは、県立幕張公園・日本庭園「見浜園」内の茶室「松籟亭」にて茶席を催しました。こうした〈おもてなし〉の趣向が、北RI会長代理のお心に叶ったことはまことに幸いでした。

さて、サンディエゴ国際協議会から戻られた漆原撰子ガバナーエレクトの出番が始まります。地区大会の成果を、2020オリパラと日本ロータリー100周年の漆原年度にコネクティッドして、地区ロータリーの勢いを高めてゆきましょう！

2020年国際協議会に参加して



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度テーマのロゴ

国際ロータリー 第2790地区
2019-20年度 ガバナーエレクト
漆原 摂子 (勝浦RC)

私は、2020年1月19日から24日にかけて、米カリフォルニア州サンディエゴで開催された、ガバナーエレクトとして最後の公式な研修である国際協議会に参加してまいりました。この協議会には、世界の国と地域からのガバナーエレクトとパートナーに加え、RI役員、研修リーダー、S.A.A.の皆さまが参加、総勢約1,500人が結集致しました。

初日、私たち日本のガバナーエレクトがホテルに到着しますと、入口には三木明RI理事ご夫妻、北清治TRF管理委員ご夫妻をはじめ、研修リーダーの鈴木一作ご夫妻・山崎淳一ご夫妻・水野功ご夫妻、そしてオブザーバーで大口寄付推進計画委員の丸尾研一様より、一人ひとり激励の握手をいただきました。

6泊7日にわたる、多様性に富んだ方々とご一緒の、学びと交流のスタートという雰囲気に、新たに気持ちが引き締まりました。

期間を通して、通算8回の本会議（全員での会議）に加え、12の分科会とワークショップが展開されました。期間の後半から、昨年に続き世界から選ばれた60人のローターアクターが合流しました。日本からは当地区より本宮秀斗君（習志野中央RAC）に加え、他地区より3人が出席、本会議や分科会で共に学びました。

またS.A.A.として参加された服部良男パストガバナーには、期間中各所にて暖かくお見守りいただきましたことに感謝申し上げます。

開会本会議で、ホルガー・クナーク次年度RI会長（ドイツ：ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク・メルンRC、職業分類：不動産業）はスピーチの冒頭、マローニー会長が強力に推進してきた「Growing Rotary

（ロータリーの成長）」の概念を引き継いでゆくことを表明しました。若い人や女性のロータリーへの参加を促し、ローターアクターの活躍を推奨し、ダイナミックな変革を恐れずに取り組むといったことは歴代RI会長と同様に述べられました。

印象に残った言葉としては、「自国ドイツのロータリアンは、友情を大切にした上で価値感を共有し、高潔性を重んじる」とのこと。また、会員の数だけにこだわるのではなく、クラブに合った会員を選ぶこと、そしてその方には生涯ロータリアンでいてもらうことの重要性に触れ、今までの歴代RI会長とは少し違うなと感じました。素晴らしいコメントだと思います。

さらに、中核的価値感を基として「4つの行動計画」に取り組むことを強く推奨され、最後に声高らかに「Rotary Opens Opportunities！」と次年度テーマを発表されました。

「ロータリーは、リーダーシップを磨く機会であり、助けを必要とする人たちのために行動する機会でもあり、また友情の絆を築く機会でもあるのです。つまりロータリーを通して、無限の機会の扉を開くことができるのです」——私たちも、ロータリアンらしい活動を通して、私たち自身や周囲の人々へ、新たなチャンスを開きましょう。

そしてそこから私たちが得る、達成感・充実感・喜び・幸せを新たなエネルギーとして、次の活動への飛躍につなげましょう。

この素敵なテーマをもって、次年度は地区内の皆さまと一緒に、たくさんの扉を開けることを目標とし、ご報告とさせていただきます。

第3グループ ロータリー情報研修会報告



2019-2020年度
第3グループ ガバナー補佐
鶴沢 和宏 (千葉若潮RC)

「クラブを活性化するために」「千葉市を元気にするために」をテーマに開催

去る11月28日、TKPガーデンシティ千葉において、故大矢惣一郎パストガバナー、増田豁^{ゆたか}パストガバナー、宇佐見透パストガバナーをはじめ70余名の会員に参加をいただき、第3グループの情報研修会を開催致しました。

本年度は、RLIに親しんでもらうことを目的としてグループディスカッションを行いました。地区のRLIの講習の修了者の方々にDLをお願いし、11グループに分かれて30分のセッションを2回行い、皆さんの考

えを述べていただきました。

第1セッションでは「クラブをより活性化するためには何が効果的か」というテーマでディスカッションを行いました。やはり「親睦活動や奉仕活動を積極的に行い、魅力あるクラブづくりを実践して会員増強につなげる」「例会を充実させて出席率を向上させる」などのご意見が多かったと思います。

続いて「ロータリーから千葉市を元気にするために」というテーマでセッションを行いました。現在第3グループが千葉市で行われる「親子三代夏祭り」でロータリー神輿を巡行して祭りを盛り上げていますが、これを継続することや、2020年は東京オリンピック・パラリンピックの年ですから、特に千葉市で行うパラリンピック4競技をロータリアンとその家族や企業の従業員達を動員して応援するなどのご意見をいただきましたので、ぜひ取り組んで行きたいと考えています。

ご参加いただいた皆さんの活発なディスカッションを拝見し、とても頼もしく思えた情報研修会でした。



第6グループ I・M開催報告



2019-2020年度
第6グループ ガバナー補佐
川名 光俊 (館山RC)

「温故知新」をテーマに開催

第6グループは、10月中旬に予定しておりました、情報研修会とコラボしたI・Mを、1月25日にホテル&リゾート南房総にて、諸岡靖彦ガバナー、梶原等ガバナーノミニーをお迎えし、そして松宮剛・元RI理事、今井忠・元第2580地区幹事長、海寶勘一・地区委員長にご臨席を賜り、出席会員総数93人のもと、盛大に開催させていただきました。2つの講演会と懇親会の3部構成とさせていただき、6時間に渡るタイトなプログラムで進行致しました。

第1部は、諸岡ガバナーがスローガンとされました「ロータリーから千葉を元気に」というテーマを基調とし、「クラブの活性化とは」との演題で宇佐見透パストガバナーに基調講演をいただきました。

第2部としまして、国際協議会で研修リーダーをお務めになられました、第2800地区藤川亨胤パストガバナーに「私が歩みしロータリーの世界」と題しての特別講演をいただきました。

世界のロータリーが新たな方向に向かっている現状を、温故知新という観点からお2人のパストガバナーの講演を通し、多くの若いクラブ会員に聞いていただきました。

今年度の反省、そして次年度へつなげるための指針になればという思いで進めさせていただき、多くの方々の関心をいただいたと思っております。プログラムを終了することができましたことを感謝します。第6グループの皆様、ありがとうございました。



タイ北部アカ族の村及び学校に浄水設備支援と就学環境の支援プロジェクト

柏西ロータリークラブ

アカ族の村の子供寮「センスック寮」支援

中国雲南省周辺から焼き畑農法をしながら約800年かけて現在のタイ国境付近に南下してきました。そして第二次世界大戦終戦後、国境線が引かれタイから出ることができなくなりました。

アカ族はアカ語を話します。彼ら少数民族には文字はありません。タイの公用語はタイ語です。アカ族などの少数民族は小学校に行って初めてタイ語を学びます。しかし、彼らが住む山奥には学校が非常に少なく、何十キロも離れていることも珍しくありません。

このような環境では学校に通うこともできません。そうすると識字率0%となり、まともな就職もできません。多くは極貧の農業か肉体労働をし、とても貧しい生活を送っています。時には目先のお金に目がくらみ麻薬の運び屋をし、捕まって何十年もの刑で投獄される親も多くいます。また、わずかなお金で娘を売り飛ばす親もいます。当然このような地域では衛生環境も十分ではありません。小学校が近くにある村はまだ恵まれています。

学校の近くに自主運営の子供寮がいくつかあり、2019年1月に訪問した「夢の家」に続き、今回は「センスック寮」の支援をしました。我々の到着に合わせ、学校から帰ってきた子供たちが集まってきました。ここで共同生活する子供たち56人は、片親がいない子が約半分、両親がいない子がその半分と非常に厳しい環境で共同生活をしながら学校に通って

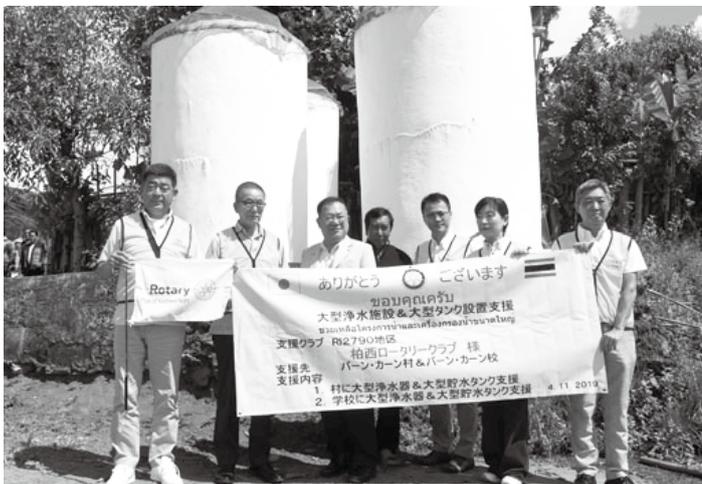
います。

この子供たちに衛生用品を届けました。子供たちは1週間にお肉を2切れほどしか食べられません。年齢の割には体がとても小さいです。

そんな子供たちに少しでも大きく、元気に育ってほしいとの想いを込めて、鶏の丸焼きを2人で1羽食べてもらおうと急遽用意しました。普段はほとんど食べるのできかないお肉を前に、子供たちも大変喜んでくれました。今回の訪問で一番の輝く瞳に会えた瞬間です。

プロジェクト概要

- プロジェクト名：タイ北部アカ族の村及び学校に浄水設備支援と就学環境の支援プロジェクト
- 実施場所：タイ北部・チェンライ県メーチャン群バーン・カーン村
- 実施期間（西暦）：2019年8月1日～2019年11月30日
- プロジェクトの恩恵を受ける人とその人数（ロータリアン以外）→村民700人および学校児童100人
- このプロジェクトへ参加したロータリアン→直接支援10人、後方支援57人
- 事業総額費：¥1,260,460円



スリランカの子供たちにきれいな水を

君津ロータリークラブ

君津RCでは、2017-18年度より、水の衛生事情の悪いスリランカ国ポロンナルワ地区の学校等に、簡易浄水器を寄贈しています。貧しいが向学心の高い子供たちを、里子として日本の支援者に繋ぐ活動をしている「コスモス奨学金」を通じ、この活動を始めました。すでに100基近く贈呈し、1学級30人とすれば約3,000人の子供たちに、少なくとも学校にいる間は「きれいな水」を飲んでもらっていることになります。

今年1月同国を訪問し、これまで贈呈した学校での管理状況を調査しましたが、フィルターの定期的な交換や清掃などを実施して丁寧に使われていました。まだ全教室に行き渡っておらず、追加要請を受けました。交換周期が長く、少し高価で入手しづらい浄水カートリッジについては、各学校に任せるには荷が重いため、コスモス奨学金関連のお寺での保管体制を整備する検討に入りました。

また、同じ北中部州の旧都であるアヌラダプラの里子さんたちの家庭数軒を訪問し、水事情を調査しましたが、井戸水は飲用に適さず、どんな貧しい家庭でも有料で月1,000リットル以上も購入していました。簡易浄水器では塩分や農薬成分を除去することはできないため、この地域の学校にはロータリーの地区補助金などを活用し、本格的な浄水器を設置するなど、今後とも子供たちの住む環境に合った「きれいな水を」の活動を進めていきたいと思っています。

併せて本年度は、君津市の小中学校で、この活動の説明会を実施し関連書籍を贈呈しましたが、生徒たちの関心も高く、彼らの社会貢献・国際貢献に向けた奉仕の精神の醸成につなげていきたいと思ひます。

プロジェクト概要

- プロジェクト名：スリランカの子供たちにきれいな水を
- 実施場所：スリランカ国ポロンナルワ地域（10校程度）、君津駅近隣小学校（7校程度）
- 実施期間（西暦）：2019年7月15日～2020年3月31日
- プロジェクトの恩恵を受ける人とその人数（ロータリアン以外）→4,500人（スリランカ国児童約3,000人、日本児童約1,500人）
- このプロジェクトへ参加したロータリアン→60人
- 事業総額費：¥1,000,000円



カンボジアの子どもたちに清潔な水を！

印西ロータリークラブ

印西RCでは、2012年からカンボジア・シェムリアップ市近郊の農村宅に井戸の寄贈事業を始め、現在までに25本（5村）を数えます。

2012年タイでの世界大会に、クラブの有志13人で出向いた時に足を延ばして、カンボジアのアンコールワット観光をしました。その時のツアー会社が村民への井戸寄贈を行っており、担当者から現地の状況を聞いて、我々も何とかしようという話で盛り上がったのがきっかけです。

カンボジアでは、遺跡の瓦礫にたまった泥水を幼児がそのまま飲んでしまい、5歳までに半数が亡くなるというありさまです。また、自宅に井戸を持たないため、地雷で片足を無くした父親が近所の井戸水をもらいに行くという話も聞きました。

井戸寄贈の手順は、当該ツアー会社へ寄贈本数と希望事項を伝え、実際の井戸工事は現地の工事会社が請け負います。現地のツアー会社を介すことの利点は、状況をよく把握して本当に必要な村民の選定ができること。また、現地に常駐しているのでトラブルがあった際に、すぐ対応修理ができることです。これは大事なことで、実際現地では故障したまま放置されている井戸を非常に多く見かけます。

現在では世界中のさまざまな団体等が井戸寄贈をしているため、以前に比べだいぶ充足してきました。

しかし、まだ必要としている村民はいるとのこと。現地のことは現地に聞いて、押し付けにならない援助を目指しています。

プロジェクト概要

- プロジェクト名：子供たちに清潔な水をプロジェクト2
- 実施場所：カンボジア王国
- 実施期間（西暦）：2019年7月15日～2020年3月31日
- プロジェクトの恩恵を受ける人とその人数（ロータリアン以外）→カンボジア・シェムリアップ周辺の生活用水確保に困窮している村民 約60人
- このプロジェクトへ参加したロータリアン→19人
- 事業総額費：¥280,000円



表彰 (敬称略)

経済産業大臣表彰



吉野 和弘
(君津RC)

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

メジャードナー (財団)



水野 晋治
(柏西RC)



榎本 洋史
(柏西RC)
8回目



宮川 忠士
(千葉西RC)
6回目



渡邊 隆
(柏東RC)
6回目



荒木 賢治
(柏東RC)
5回目



藤原 泰治
(柏東RC)
4回目



渡邊 宏
(茂原RC)
3回目



三上 浩
(千葉西RC)
2回目



花澤 誠一郎
(千葉西RC)
2回目



大川 裕士
(君津RC)
2回目



文倉 秀正
(茂原RC)
2回目



荻野 勝
(柏東RC)
2回目



新田 辰吉
(柏東RC)
2回目



長岡 哲也
(柏東RC)
2回目



中村 俊人
(柏東RC)
2回目



荒井 潤一郎
(君津RC)
1回目



市原 健二
(茂原RC)
1回目

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



酒井 秀光
(茂原RC)
1回目



宮田 修
(茂原RC)
1回目



湯澤 建人
(市川シビックRC)



渡邊 勉
(市川シビックRC)



高宮 幸子
(船橋西RC)



市橋 拓道
(茂原RC)



渡辺 智志
(茂原RC)



桑田 光人
(茂原RC)

新ポール・ハリス・フェロー



佐々木 健司
(茂原RC)



猿田 真也
(茂原RC)



小林 陽一
(柏東RC)



山崎 智弘
(市川シビックRC)

新ベネファクター



大塚 裕正
(千葉南RC)

メモリアルコントリビューション

母堂
大原 康代様

米山功労者



山本 康昭
(千葉西RC)
46回目



石井 賢徳
(習志野RC)
8回目



中村 俊人
(柏東RC)
4回目



森 和夫
(柏東RC)
4回目



花澤 誠一郎
(千葉西RC)
3回目



川崎 操
(市川南RC)
2回目



佐々木 みるみ
(柏東RC)
2回目



白井 貴博
(千葉西RC)
1回目



福嶋 史郎
(浦安ベイRC)
1回目



関 学
(柏RC)
1回目



三代川 彦博
(習志野中央RC)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



桜井 隆宏
(千葉西RC)
生命保険
7月2日入会



高橋 健一郎
(千葉西RC)
税理士
8月3日入会



小松 喜久子
(千葉西RC)
設備工事
9月3日入会



朴 春娜
(浦安ベイRC)
飲食業
11月1日入会



石川 満恵
(浦安ベイRC)
生命保険
11月6日入会



中村 武弘
(千葉西RC)
ケータリング
1月2日入会



加藤 栄作
(野田RC)
廃物処理業
1月6日入会



川崎 美嘉子
(千葉西RC)
社会保険労務士
1月7日入会



阿部 博志
(千葉北RC)
眼鏡販売
1月8日入会



川名 展弘
(船山RC)
建設業
1月8日入会



豊嶋 陽介
(旭RC)
金物建材卸売
1月10日入会



山中 寛之
(成田RC)
損害保険
1月10日入会



池ノ上 裕二
(松戸東RC)
損害保険代理業
1月10日入会



佐藤 丈夫
(木更津東RC)
商業銀行
1月15日入会



小椋 伸也
(松戸北RC)
塗装及び内装業
1月15日入会



中島 有紀子
(柏RC)
不動産賃貸業
1月22日入会



浦島 竜也
(千葉RC)
社会保険労務士
1月27日入会



坪井 良太
(千葉幕張RC)
飲食業
1月28日入会

(公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま Vol.238)

今月のトピックス

- ・第4代よねやま親善大使を募集
- ・海外応募者対象奨学金申し込み状況
- ・寄付金速報 ― 前年度に比べてやや減少 ―
- ・2020-21年度地区米山奨学委員長セミナーを開催
- ・ロータリーの輪で実現「こころのサンタ運動in千葉」

《今月のピックアップ記事》

ロータリーの輪で実現「こころのサンタ運動in千葉」

大阪府枚方市で英語スクールを運営する米山学友のカレン・ジュリア・ウォーターズさん(オーストラリア/1992-94/京都南RC)は、日本の子どもたちに「奉仕の精神」と「人を思いやる心」を育てたいと、さまざまな奉仕活動を行っています。その一つとして6年前から行っているのが「こころのサンタ運動」。英語スクールの生徒たちが菓子をもち寄り、街頭募金で集めた寄付金を、その年に日本国内で大きな災害に見舞われた地域の子どもたちへ贈る活動です。

今回は、昨年の台風で被災した千葉県で受け入れ先を探し、第2790地区米山記念奨学委員会の鈴木荘一委員長と鋸南RCの清水一成会長の協力により2地域での受け入れが実現しました。12月24日の朝、プレゼントを車に満載して千葉県に到着したカレンさん一行は、君津市の「はぐくみの杜」を訪問。大喜びの子どもたちに見送られて鋸南町に移動し、町立鋸南保育所の園児たちと英語の歌遊びを楽しみ、一人ひとりにプレゼントを手渡しました。また、スクールの子どもたちが街頭募金で集めた寄付は、清水会長を通じてその日のうちに鋸南町教育委員会へと届けられました。

翌日、大阪に戻ったカレンさんの元に、東京オリンピックの聖火ランナーに選ばれたという吉報が届きました。「子どもたちのためにますます頑張ります!」と、カレンさんは意気込みを語っています。



国際ロータリー第2790地区(千葉) 暫定出席記録・会員数報告(2020年1月分)

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2019 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	100.00	2	42	3	43	4	1
	市川東	100.00	2	42	2	39	2	△3
	市川南	93.00	3	23	2	23	2	0
	浦安	88.30	3	42	1	43	1	1
	市川シビック	79.77	3	33	0	33	0	0
第2グループ	浦安ベイ	76.47	2	15	0	16	2	1
	平均	89.59	2.50	32.83	1.33	32.83	1.83	0
	船橋	92.22	3	30	0	31	0	1
	船橋西	89.52	4	39	7	36	7	△3
	鎌ヶ谷	80.22	4	30	2	28	1	△2
第3グループ	船橋東	82.01	4	29	2	28	2	△1
	船橋南	83.72	4	11	1	14	2	3
	船橋みなと	81.36	4	18	4	19	4	1
	平均	84.84	3.83	26.17	2.67	26.00	2.67	△1
	千葉	80.96	2	96	3	104	5	8
第4グループ	新千葉	84.27	3	55	0	55	0	0
	千葉西	85.14	4	50	4	55	6	5
	千葉中央	91.49	3	27	0	26	0	△1
	千葉幕張	72.07	3	34	3	37	4	3
	千葉東	76.00	2	29	2	28	2	△1
第5グループ	千葉若潮	65.13	3	30	1	31	1	1
	平均	79.29	2.86	45.86	1.86	48.00	2.57	15
	千葉南	84.67	3	47	7	45	6	△2
	市原原港	56.70	2	52	4	57	4	5
	市原中央	66.00	2	25	4	27	4	2
第6グループ	市原北	80.46	4	47	1	46	1	△1
	千葉緑	70.83	4	29	4	30	4	1
	平均	86.36	2	21	1	22	2	1
	平均	74.17	2.83	36.83	3.50	37.83	3.50	6
	木更津	88.40	3	31	5	29	4	△2
第7グループ	上富津	55.50	3	14	0	15	0	1
	富津中央	74.33	4	35	2	38	5	3
	木更津東	83.03	4	44	5	46	5	2
	君ヶ浦	64.72	4	57	5	58	5	1
	袖ヶ浦	81.46	3	24	4	25	4	1
第8グループ	富津シティ	75.00	4	14	1	15	1	1
	平均	74.63	3.57	31.29	3.14	32.29	3.43	7
	館山	87.40	4	46	4	47	4	1
	鴨川	68.69	3	34	5	34	5	0
	勝浦	93.12	2	41	5	43	5	2
第9グループ	千倉	50.00	3	4	2	4	2	0
	鋸南	80.00	2	15	2	15	2	0
	館山ベイ	71.04	4	24	0	25	0	1
	平均	75.04	3.00	27.33	3.00	28.00	3.00	4
	茂原	79.62	4	58	4	60	4	2
第10グループ	東金	80.65	3	19	1	21	2	2
	大原	89.50	4	10	1	10	1	0
	大多喜	86.66	3	5	1	5	1	0
	成田空港南	68.99	3	31	0	30	0	△1
	茂原中央	71.20	3	20	2	22	2	2
第11グループ	大東	75.00	4	29	1	30	2	1
	東金ビュー	87.25	2	16	1	16	1	0
	平均	79.86	3.25	23.50	1.38	24.25	1.63	6

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2019 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	84.46	4	39	3	41	4	2
	旭	65.80	3	43	4	42	4	△1
	八日市場	65.00	3	38	3	40	3	2
	銚子東	80.15	4	33	2	32	2	△1
	平均	73.85	3.50	38.25	3.00	38.75	3.25	2
第9グループ	佐原	87.79	4	48	0	47	0	△1
	多古	80.60	4	16	0	19	0	3
	小見川	67.35	3	27	0	27	0	0
	佐原香取	94.72	2	24	1	46	0	22
	平均	82.62	3.25	28.75	0.25	34.75	0.00	24
第10グループ	成田	69.44	4	65	4	67	4	2
	八街	88.39	3	30	3	30	3	0
	印西	74.08	3	16	1	16	1	0
	白井	66.66	3	12	1	12	1	0
	成田コスモポリタン	77.77	3	30	0	30	1	0
第11グループ	平均	53.34	4	67	0	72	0	5
	平均	71.61	3.33	36.67	1.50	37.83	1.67	7
	柏	79.62	4	65	10	65	9	0
	我孫子	69.08	4	31	3	32	3	1
	柏西	81.97	4	64	3	60	3	△4
第12グループ	柏東	75.00	4	41	8	39	7	△2
	柏南	80.70	3	41	9	39	9	△2
	平均	77.27	3.80	48.40	6.60	47.00	6.20	△7
	習志野	74.89	4	24	1	29	1	5
	八千代	93.68	4	52	0	53	0	1
第13グループ	佐倉	67.11	4	37	3	38	3	1
	八千代中央	76.50	3	23	1	25	1	2
	四街中央	71.43	4	29	4	28	4	△1
	習志野中央	66.39	3	47	4	48	5	1
	佐倉中央	79.71	3	23	5	23	6	0
第14グループ	平均	75.67	3.57	33.57	2.57	34.86	2.86	9
	松戸	97.81	4	60	0	59	0	△1
	松戸東	89.33	4	49	0	48	0	△1
	松戸北	72.44	4	33	0	35	0	2
	松戸中央	82.23	4	42	7	43	7	1
第15グループ	松戸西	80.17	4	29	0	29	0	0
	平均	84.40	4.00	42.60	1.40	42.80	1.40	1
	野田	91.57	3	54	6	55	6	1
	流山	69.05	3	14	3	14	3	0
	野田東	69.44	4	18	0	18	0	0
第16グループ	流山中央	85.00	3	21	2	22	2	1
	野田セントラル	79.00	4	25	1	25	1	0
	平均	78.81	3.40	26.40	2.40	26.80	2.40	2

クラブ数 82RC		
2019年7月1日	地区会員数	2,777人
2020年1月末日	地区会員数	2,852人
2019年7月1日	地区女性会員数	201人
2020年1月末日	地区女性会員数	214人
	当月平均出席率	79.10%
	増減	+75
	女性会員増減	+13

物故会員 (敬称略)



中川 実 (市川東RC)
 逝去日: 2020年1月19日
 (享年82歳)
 入会日: 1979年7月31日



大矢惣一郎 (千葉幕張RC)
 逝去日: 2020年1月26日
 (享年88歳)
 入会日: 2018年1月16日
 1968年3月 (大原RC入会)
 ロータリー歴: 1994-1995 ガバナー

ロータリーレートのご確認

につきましては、右記QRコードから「地区HP」をご確認
 いただきますようお願い申し上げます。



「女性交流会」

国際ロータリー第2790地区
2019-20年度 女性交流会
会長 飯田 久美子 (佐倉中央RC)



2019年11月20日、ホテル ザ・マンハッタンにて、今期の第1回目の女性交流会を開催致しました。21クラブから38人の皆様が参加してくださいました。

来期、いよいよ当地区から初の女性ガバナー誕生ということで、私たち女性会員の気運も高まってきています。

野池尚美前幹事長の乾杯のご発声の下、漆原摂子ガバナーエレクトより、マローニー会長をお迎えしての、第48回ロータリー研究会のご報告をいただきました。

その後ガバナーエレクトより、「R Iテーマ『ロータリーは世界をつなぐ』に沿って、昨今、女性会員増強等が求められています、広義な意味で皆さまはどのようにお考えですか?」と問い掛けがありました。

さまざまな意見が出ましたが、総括的には「特に女性会員だからというのではなく、ロータリークラブの一員として、同じ意識感覚で捉えているし、所属クラブの皆さまも、そのように接して下さっている」とのことでした。まさにロータリーの伝統そのもの(4つのテスト)だと、皆さまと再認識致しました。

また、女性会員がクラブ内に1人、2人という方は、特にこの女性交流会を楽しみにされていました。女性同志、リラックスして活発な意見や情報を交換をする場として、またロータリーを学ぶ場として、懇親会、

勉強会、チャリティーイベント、また増強の一環としての展開、発展性を感じました。

そして、女性交流会は意味のある大切な委員会として、ぜひ存続させて欲しいと、皆さまからの熱い要望がありました。

また当日は、台風15号・19号被災地募金箱を設置し、集まった4万円をガバナー事務所へ寄付させていただきました。

なお、「女性交流会」となっていますが、今後の懇親会には、男性会員、ロータリーにご興味のある方にも、ぜひご参加いただきたいと思っております。

次回は、5月または6月頃を予定しています。よろしくお願ひ申し上げます。



募金活動の様子



漆原摂子ガバナーエレクト

親睦野球リーグ活動報告

2019-20年度地区親睦野球リーグは、勝浦RCが新たなチームとして加盟され、合計10チームによる総当たり形式で戦いました。親睦が主体というものの、あくまでも公式試合ですから、勝負には厳しく、かつ公正クリーンなジャッジが必要です。審判員を務めていただいた佐々木輝彦様、野尻武士様には、永年にわたるご指導を賜っており、改めまして厚く御礼を申し上げます。

本年度は昨年度の猛暑天候から一変し、特に週末は悪天候に多くたたられたことで、各チーム監督は球場割り当てとチームメンバーの構成にご苦労されたと思われる。

4月13日には舞い散る桜吹雪の中、開幕式および開幕戦を行い、11月末までの8カ月にわたる熱戦の口火が切って落とされました。若さを取り戻した元熱血球児たちの球宴の結果は――

2019年度優勝チームは、2年連続で松戸西RC（全勝）。準優勝は初参加ながら勝浦RC（7勝1敗1引き分け）、第3位には成田コスモポリタンRC（5勝3敗1引き分け）という成績で、無事終えることができました。

戦い終えれば気の合う仲間同士。11月29日には、ホテル ザ・マンハッタンで納会が開かれ、歴代のリーグ会長を務められた青木貞雄パストガバナー、関口徳雄パストガバナー、宇佐見透パストガバナーをはじめ、漆原摂子ガバナーエレクト、梶原等ガバナーノミニ、

森島弘道フェローシップ委員長ほか、100人を超える部員の方々が参加され、優勝旗の授与や各個人賞の発表に拍手喝采。大いに盛り上がりました。

上記3チームにはそれぞれ伝統の優勝旗と賞金、選手には記念メダルが授与されました。同時に個人成績で、ホームラン総数38本の打者24人と、各チームから選ばれた優秀選手に、名前が刻印されたトロフィーが手渡されました。

今年度のリーグ最優秀ピッチャーには三国大吾氏（松戸RC）、最優秀打者には飯沢卓司氏（松戸西RC）が選出され、同様にお名前が刻印されたトロフィーの贈呈が行われました。

我が地区の親睦野球リーグは、1983年松戸東RC・浦安RC・富里RCの3クラブから始まり、1989年に地区野球リーグとして正式に認証され、今期は31年目となりました。ロータリー会員であればクラブを越えて1つのチームになることも可能で、地区グループやクラブを越えての選手登録制度からはロータリアン同士の信頼と親睦も図れ、クラブ内では活動の中心的存在になっています。

メンバーが少ないクラブでも、クラブを越えて選手を募り、次年度はぜひ参加していただけたらと願っています。参加希望のクラブ様は、事務局担当 太田（浦安RC/090-3061-0666）までご連絡をお待ちしています。

